

舞岡川のハグロトンボ生息調査



横浜市立舞岡中学校科学部

舞岡中学校科学部ができるまで

- 科学部ができる前から、一部の生徒によるハグロトンボの調査を実施。
- 2014年、科学部が発足。近隣の学校とも協力し、主に舞岡中学校周辺での本格的な調査を開始。

活動記録

- 2014年 科学部発足
第58回学芸サイエンスコンクール 旺文社赤尾好夫記念賞
- 2015年 横浜環境活動賞 児童・生徒・学生の部 大賞
生物多様性特別賞
- 2016年 下水道展 in 名古屋
日本環境学会公開シンポジウム
- 2017年 環境大臣賞 地域環境保全功労者表彰
国土交通大臣賞 循環のみち下水道賞
- 2018年 コカ・コーラ環境教育賞活動部門 優秀賞
舞岡うきうき自然科学研究会

ハグロトンボについて

- 本州・四国・九州に分布している。
- 羽が黒く胴体が細いことが特徴。
- 1965年頃に横浜からほぼ絶滅したと思われていた。
- しかし1995年に金沢区の侍従川にて再発見。
- 以後各地で確認されるようになり調査も開始される。
- ハグロトンボの生育には綺麗な水質や水生植物が必要

→環境指標になる生物と考えられている



科学部の活動内容

- 水質調査
- ハグロトンボの調査
- その他舞岡川の生物の研究・飼育
- ハグロトンボの飼育への挑戦
- さまざまなイベントへの参加



これまでの研究



今までの科学部の研究で分かったこと

- ハグロトンボの復活は周辺地域の下水道によるもの
↳ 地域の方々と連携し水質調査などの結果から判明
- 近年は舞岡の水質がアルカリ性に近づいている
 - ➡ 昨年末の急激な水質悪化が原因
 - ➡ 魚の大量死の発生

今後の活動について

- 今後の水質・生態系の変化の記録
 - ➡ 可能であれば状況の改善
- ハグロトンボやその他様々な生物の飼育
 - ➡ 様々な生態の記録、調査を行う
- 舞岡中学校の池の清掃
 - ➡ 様々な生物の住める環境にし
育った生物を川に放し生態系の回復を試みる

